

トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 桜ノ宮合同庁舎

TEL 050-3160-6763

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>



都市近郊林におけるカシノナガキクイムシ による被害対策について

【広島森林管理署】

【はじめに】

平成20年頃から広島県北西部の中国山地付近においてカシノナガキクイムシ（以下「カシナガ」という。）によりナラ類の樹木が立ち枯れる被害が発生・拡大し、近年では、県南部の都市近郊林においても被害が見られ、地域住民や登山者等からの目撃情報も多く寄せられるようになりました。

広島森林管理署ではカシナガによる被害の拡大を防ぐため、被害報告があった「^{うじなやま}宇品山国有林」と「^{うしたやま}牛田山国有林」で令和2年から対策を講じています。



高所作業車を使用した被害木の伐採



伐倒・玉切りした木を「くん蒸処理」

宇品山国有林は、多数のフェリーが発着する広島港周辺に位置した自然観察教育林でもあり、西海岸沿いの遊歩道からは広島港に発着するフェリーを望むことができ、近隣の住民らが日頃から散歩

やジョギング等を行っている場所です。カシナガ被害木の対策として、被害拡大を防ぐため「粘着シートによる捕獲」を令和2年11月、薬剤を使って殺虫を行う「伐倒くん蒸」の処理を令和3年2月に実施しました。

「伐倒くん蒸」は、伐倒・玉切・集積した被害木に対して薬剤散布し、ビニールシートを被せたまま、約2週間くん蒸処理を行い、その後にビニールシートを回収しました。一方、「粘着シートによる捕獲」は、粘着シートの粘着面を樹皮側に設置することで幹から出てくるカシナガを捕獲するため、約6ヶ月間設置した後に回収しました。

また、牛田山国有林は、広島駅北部に位置し、公共交通手段を利用した一般の登山者が多く訪れる場所にあり、被害木は登山道沿いに多くあります。このため、被害木の対策として「粘着シートによる捕獲」のみを実施しました。



被害木に設置した粘着シート

【地元小学校などとの連携】

令和3年4月、粘着シート撤去と併せて、宇品山国有林の近くにある地元小学生を対象とした見学・勉強会を実施しました。回収作業前に大きい木が被害を受けやすいこと、被害木がなぜ枯れるのか、捕獲をすることでどうなるのか、などについて説明した後、回収作業を手伝ってもらいました。

参加した児童からは、「こんな小さな虫が大きな木を枯らすことに驚いた」「カシノナガキクイムシの他にも多くの生物がいることがわかった」との声があり、身近なカシナガ被害を体感しつつ都市近郊林の大切さを実感することができました。



職員による粘着シート設置の説明



粘着シート回収作業の様子



捕獲回収した粘着シート

また、牛田山国有林での回収作業時には、登山者から作業についての説明を求められることもあり、実際に捕獲できたシートを使って、被害木対策の説明を行うこともありました。



粘着シートの回収

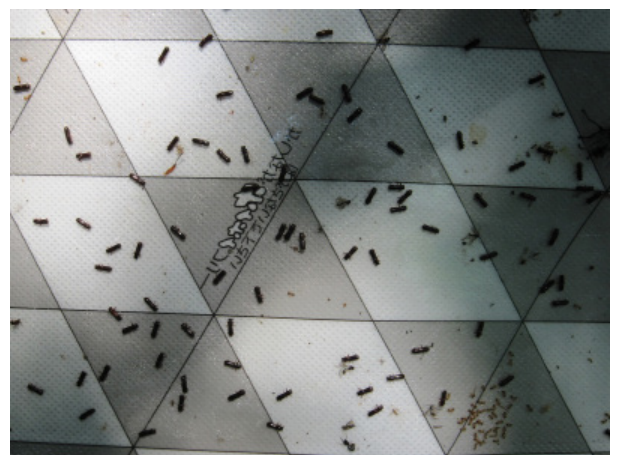


登山者への説明

【今後の取組について】

粘着シートを設置した木は目立つため、登山者等地域住民の関心を喚起することとなり、森林環境教育の活用にも有効と考えています。

今後は、誰でも簡単に粘着シート設置ができるといった利点を活かしつつ、児童等への設置体験のほか、自然観察ガイド等がボランティアとして粘着シート設置・撤去に参加いただけるよう取り組むこととしています。



粘着シートで捕獲したカシノナガキクイムシ

里山広葉樹材需要拡大ワーキンググループの活動について

【技術普及課】

このワーキンググループは、管内の若手職員中心としたグループで、斬新な発想と行動力で、里山広葉樹材の需要拡大を実現するために、企業ヒアリングを始めとする様々な活動を行っています。

令和3年度の一組の一つとして、アベマキ材の活用を探ってみました。「アベマキ」とは、中国地方等の里山で一般に見られる樹種で、火持ちが良いため薪などの燃料として重宝されてきました。しかし、木材としては重く、硬く、使いづらいと思われており、木製品としての活用はあまりされていないのが現状です。

そこで、アベマキの木製品の良さを紹介するため、昨年、国有林のアベマキ丸太2本を購入された業者の方にご協力いただき、作業工程を取材しました。木材市場では、「樹種は限定せず、目が詰まっている良材で、ヒノキとコントラストになるような色の面白いものを中心に選びました」とのことで、約10ヶ月をかけて木製品が作られました。アベマキはやや赤みがあり、特有の重厚感を引き出していて、素晴らしい出来映えでした。



里山は、多種多様な広葉樹が生えているのも特徴であり、この樹種の違いを活用すれば、色や雰囲気の違いを楽しむ製品も作れる、という良さを発見することができました。

【局 HP (アベマキ材、追跡してみました!)] https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/sidou/gijyutukaihatu/wg_kouhouoikakeshuzai.html



さらに、令和3年度のもう一つの取組として、地域の広葉樹材を活用している木工職人の方にご協力いただき、里山広葉樹の魅力をPRする動画を作成しました。YouTubeにショート動画として公開していますので是非ご覧ください。 <https://www.youtube.com/watch?v=eDqDwC4uSTE&t=2s>



動画の作成に当たり、アベマキを利用してお皿を制作する工程を見学しました。木工職人の方によると広葉樹は針葉樹よりも堅いという特徴があるため「つや」や「光沢」が出やすいとのこと。ただし、アベマキは乾燥させると割れが生じてしまうことも多いとのこと。今回の撮影では広葉樹ならではの魅力があることと同時に、製品への利活用の難しさも学ぶことができました。

【局 HP (里山広葉樹の魅力を発信! ~PR動画の作成~)] <http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/sidou/gijyutukaihatu/douga.html>



木工所での動画撮影の様子



完成したアベマキのお皿と使用例

これらの気付きも踏まえ、今後も里山広葉樹の魅力を活かした活用方法の探索や情報発信などを行っていきたくと考えています。

『令和3年度治山・林道工事コンクール』の「農林水産大臣賞」授賞式を行いました。

【京都大阪森林管理事務所】

2月9日（水）京都大阪森林管理事務所において、令和3年度治山・林道工事コンクール表彰式が林野庁主催



授与の様子

のweb形式で行われました。当日は、近畿中国森林管理局の柏原局長より林野庁長官からの表彰状伝達を受けて、受賞者へ表彰状が授与されました。

治山・林道工事コンクールは国有林野の公益的機能を十全に発揮させ、森林・林業の再生の推進、その他の事業実施における施策効果を一層発現させることに貢献した治山・林道工事であって、民有林の模範としてふさわしいものを表彰することにより、治山・林道工事における計画、設計・施工の適正化及び設計・施工技術の向上、並びに関係者の意欲高揚を目的として毎年実施されています。

この度、令和2年度に貴船山国有林で株式会社今井組が施工した「貴船山山腹工事」が治山工事部門において、農林水産大臣賞を受賞しました。

貴船山山腹工事は平成30年台風21号等災害による大規模な風倒木被害地の復旧工事であり、急傾斜地で厳しい現場条件の中、大幅な追加工事があったにも関わらず、安全に配慮し工期内に完成させたこと、地元からの評価が高く、出来映えに優れた工事を完成させたことが評価されました。

当所では、平成30年台風21号等災害からの復旧に向けて局所一体となって取り組んでおり、今後とも工事施工者とも連携して公共事業の品質向上を図るとともに、地域の安心安全の確保に向けて取り組んで参ります。

【林野庁HP】 <http://www.rinya.maff.go.jp/j/gyoumu/tisanrindoconcours/koujicon.html>



庁舎への立入制限について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当分の間、業務関係者以外の庁舎への立入りを制限させていただきます。

庁舎1階「森林（もり）の展示ギャラリー」についても展示を休止しております。

大変ご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

桜ノ宮合同庁舎管理者

森林のギャラリー（局庁舎1階）

【技術普及課】

○森林のギャラリー（局庁舎1階）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、展示を休止しています。

これまでの展示の内容は下記の局ホームページで見ることが出来ます。ご理解ご協力の程お願いします。

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/index.html>



○フォレスター NEWS 2月号 (No.57) を発行しています。

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/sidou/foresuter/katudou.html#> 近畿中国局フォレスター NEWS



【箕面森林ふれあい推進センター】

○こだま通信 119号を発行しています。

https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/booklet/kodamatushin.html



【三重森林管理署】

○大杉谷国有林からの手紙 (54通目) を発行しています。

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/mie/information/oosugitegami.html>



花草木

【ウメ（梅）】

ウメ（梅、学名：Prunus mume、英：Japanese apricot）は、バラ科サクラ属の落葉高木で、奈良時代以前に中国からもたらされたようです。果実を利用する品種は「実梅」として扱われ、梅干などに加工して食用とされます。樹木全体と花は鑑賞の対象にもなり（花梅）、日本には花見や梅まつりが開かれる梅林や梅園が各地にあります。（大阪城公園、偕楽園（水戸市）、吉野梅郷（青梅市）など）。枝や樹皮は染色にも使われます。

『万葉集』での梅の和歌は、第一位の萩に次ぐ歌数で、100首を超えています。それは、当時の貴族達が先進国である中国の文化に憧れて積極的に受け入れようとした結果を示していると言えます。そうした梅の花を詠んだ和歌の中に、現在の元号、令和の出典になった歌群があります。

「梅花歌三十二首ならびに序」とあって、その序には、まず天平二（730）年正月十三日に大宰帥（ださいのそち、九州全体の役所である大宰府の長官）だった大伴旅人の邸宅に人々が集まり宴を催すとあります。その後には、〈時に、初春の令月にして、気淑（よ）く風和（やはら）ぐ。梅は鏡前の粉を披（ひら）き、……〉と続きます。ここの「令月」と「風和」から採って、「令和」としたとのこと。「和」は平和の和でもありわかりやすいですが、ここの「令」は、良い、すぐれた、りっぱな、という意味だそうです。

ウメの花言葉は多くあります。ウメの花全体をあらわす言葉のほかにも、赤や白、ピンクの色別の花言葉も存在します。どれも梅（うめ）の花の美しさから由来する言葉になっていて、人々の梅（うめ）の花への愛が感じられます。花全体の花言葉としては、「高貴」（気品のある様）「高潔」（心が気高くて、清らかなこと）などがあります。開花時期は2月から4月なのでちょうど見頃かもしれません。



大阪市内の公園で撮影したウメ（梅）

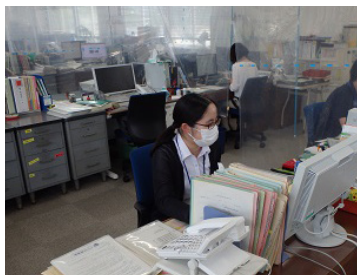
我が所のスタッフ 山口森林管理事務所

村木 藍海（むらき あいみ）（令和3年度採用）

【現在取り組んでいる仕事は？】

総務グループの係員として、文書の受付や決裁済みになった文書の処理、上司の補助的な業務等を行っています。採用1年目のため分からないところが多く、上司に教わりながらすることが多いです。

また、OJTを兼ねて他のグループの様々な業務の現場に行かせてもらうことがあり、自分が担当している業務以外のことを学ぶ機会が多くあります。



日常業務の様子



3次元地上レーザースキャナ研修受講の様子

【職場の雰囲気は？】

話しかけやすい人が多く、分からないところを聞くとやさしく説明していただきます。また、とても雰囲気の良い職場だと思います。

【林野庁の魅力は？】

採用区分に関係なく、総務や治山などの様々な仕事を体験することができる場所だと思います。また、森林という自然と関わることができるということも魅力の一つだと思います。



3次元地上レーザースキャナ研修受講の様子

森林事務所紹介

さんわ
三和森林事務所 (広島北部森林管理署)

首席森林官 藤本 純一 (ふじもと じゅんいち)

三和森林事務所は、広島県の東部に位置し、高梁川流域の上流にあ
たる^{じんせきぐんじんせきこうげんちよう}神石郡神石高原町 (平成 16 年 11 月に^{ゆきちよう とよまつそん じんせきちよう}油木町、豊松村、神石町、
^{さんわちよう}三和町が合併) を管轄しています。

^{たかはしがわじようりゆう}高梁川上流森林計画区 (国有林) に関係する市町は神石高原町の
1 町のみとなっています。



非常勤職員と事務所前にて (筆者左)



道の駅と石屋山国有林 (左側)

管内の国有林は神石高原町内
に 49 もの団地が幅広く点在し

ており、着任当時には現地を覚えるのに大変苦労したことを思い出します。

管内の事業は、立木販売や生産事業による丸太の供給、伐採後の植林や保育、
山地崩壊箇所の復旧工事、林道の修繕や工事等を主体に、国有林と民有林の
境界の管理や国有林の活用、事業に伴う地元住民への対応等の業務を日々行っ
ています。



星居山国有林の麓の紅葉



分収造林締結記念イベント

近年では、国有林と
隣接する民有林を「共
同施業団地」として設
定し、一体型で丸太を
生産したり、国有林の
生産事業地で「公益的
機能維持増進協定」を
結び、国有林の中に介

在する民有林の間伐を併せて実施しました。

また、伐採した跡地を国以外の方に植林してもらい、将来の伐採時に収益を分け合う分収造林契約を、^{ほしのこやま}星居山国有
林の立木販売の伐採跡地において、全国初の取組として公益事業者であるガス会社 (広島ガス株式会社) と契約しま
した。

現場に出ればコロナなんか感じさせないと思ながらも、今後
も感染対策を徹底して、残り少ない私の国有林勤務の中で、その
使命を最後まで果たしたいと思っています。



分収造林締結記念植樹



大造山国有林災害復旧工事

シリーズ『国有林最前線！』

～治山事業におけるICT活用の取組～

治山課

治山事業を実施する建設産業は、インフラの整備やメンテナンス等の担い手であると同時に、地域経済・雇用を支え、災害時には最前線で「安全・安心」を担う地域の守り手として、国民生活や社会経済を支える大きな役割を担っています。

一方で、近年、建設業界では就労者の高齢化や現場の技能労働者の減少、若手入職者の減少に直面しており、中長期的なインフラの品質確保等のためには持続可能な建設産業の構築が課題となっています。もちろん林野庁が発注する治山事業などの森林土木工事を受注する事業者においても例外ではありません。

さらに、最近は豪雨が頻発化し、多くの災害が発生しています。その際には職員による被災状況の確認や復旧計画の調査・立案等を迅速かつ的確に実施する必要があり、これまで以上に効率的な現地調査の手法等を確立することが急務となっています。

こうした課題に対し、近畿中国森林管理局では「業務の効率化」「品質の向上」など、様々な場面において有効性が期待できる取組として、ICTを活用した森林土木工事を積極的に推進しています。

今後も最新の技術を取り入れながら計画的な復旧対策に取り組むとともに、府県や市町村等と連携し、災害に強い地域づくりに向けて全力で取り組んでいきます。

森林土木工事におけるICT活用の取組① ～遠隔臨場～

遠隔臨場

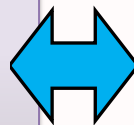
工事現場等において監督職員と受注者がウェアラブルカメラ等による映像と音声の双方向通信を使用して段階確認、材料検査、立会等を行うことができます。

発注者（事務所）

監督職員

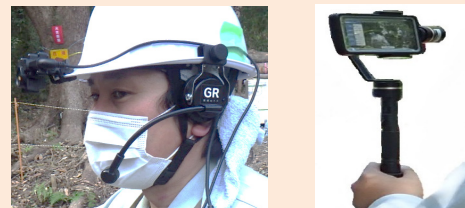


机上にて承認・確認等の監督業務が可能



画像と音声
をリアルタイム
で配信

受注者（現場）



監督職員の立会を工程通りに実施でき、円滑な現場進行が可能

ウェアラブルカメラ（現場代理人等装着）

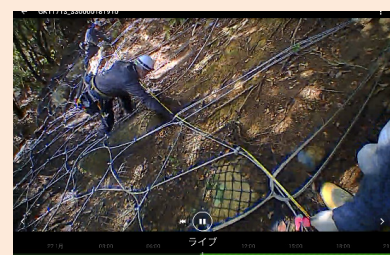
※ウェアラブルカメラとは、ヘルメットや体に装着や着用可能なデジタルカメラの総称であり、一般的なモバイル端末を使用することも可能です。



材料検査



品質確認



出来形確認

森林土木工事におけるICT活用の取組②

～災害調査～

山地災害調査アプリ

スマートフォン等を使用し、被災直後の状況把握（被災箇所の写真、位置情報等）が容易に行える調査アプリです。

情報はリアルタイムに通信することが可能で、局署が連携した応急対策等、現場業務の迅速化・効率化も図られます。



令和3年8月の大雨による被災状況確認（ヘリ調査）
【広島県内、島根県内】



ヘリの飛行ルートや現地の状況をリアルタイムに確認し、速やかな対策の検討・実施に活用

UAV測量

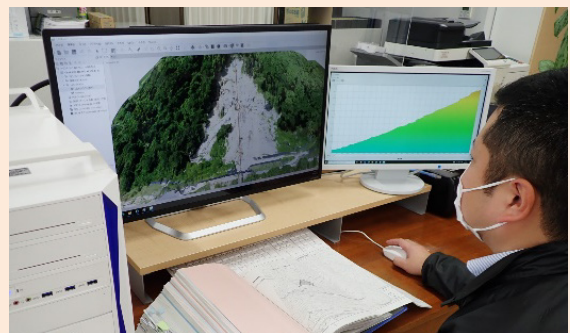
UAV（ドローン）を使用して上空から地形情報を取得する測量技術で、従来の測量に比べて、測定やデータ収集にかかる時間等が大幅に削減され、速やかな被災状況の詳細調査を実施することができます。



山腹崩壊発生後の現地調査【山口県岩国市】



地すべり区域の現地調査を地方公共団体（和歌山県）と合同で実施【和歌山県田辺市】



UAV 測量結果を基に3次元地形データを作成し、速やかな復旧計画立案等に活用